学校安全会法とは？

生命の安全は人間の最大の願望であります。学校教育も安全に実施されてこそ目的が完遂されます。万一学校教育の現場で災害が起った場合、その災害に対して何ら保障がなされないとしたら、ずいぶん不安な思いをしなければなりません。去る十二月の国会で「日本学校安全会法」が制定され、学校教育実施中に起った災害に対して、一定の保障が約束されることとなりました。保護者の方は一ケ年間十円の掛金を払うことによって教育委員会と日本学校安全会とが一ケ年間保障契約を結び、学校教育上起った災害――くわしくは、登校日に学校へ行くため家を出てから家へ帰るまでの間に起った災害――に対して、その治療費や必要ある場合には見舞金が支給されます。治療費は、実際に医師に支払った額の半額が支給されます。残り半額については、国民健康保険で支給されますので、実際には保護者の医療費負担はなくなります。また学校教育上起った災害が原因で不幸にして死亡した場合は見舞金十万円が、また不具廃疾となった場合はその程度によって十三万円から五千円までの見舞金が支給されます。既に大半の保護者の方の御同意を得ましたが、まだ御同意されない方はできるだけ早く学校宛同意書をお出し下さい。

増築資金貸付はじまる

住宅金融公庫では今年度の増築資金貸付を次の要領で行うことになりましたので希望者は申込みをされるようお知らせします。

一、受付期限　七月十五日迄
二、貸付対象床面積　一戸当り七平方メートル（約二坪）以上三〇平方メートル（約九坪）未満まで
三、貸付金の限度　増築に係る住宅部分の建築費の七割に相当する金額（木造）
四、申込受付銀行　千葉銀行東金支店、千葉相互銀行本店千葉信用金庫、銚子信用金庫五、利率　年利五分五厘
六、償還期限　八年以内
七、中高層耐火建築の申込期限は六月三十日迄
八、詳細は取扱い銀行でおき下さい。

米の予備予約まとまる

昭和三十五年産米の予備予約の申込みは去る四月中より実施され生産農家、米推関係役員、集荷業者のそれぞれの立場が一体となり御理解ある推進と全面的な協力により、御蔭様で五月二十日現在左表の通り光町予約目標数量三四、五〇二俵二斗に対し予備予約の申込み受付数量は三五、二八五俵で七八二俵二斗の超過成績で終了いたしました。

以上の通り好成績で予備予約が終了いたした御報告を申上げると同時に御協力に対し厚く感謝いたします扱て次の段階としては予備予約数量を即本予約に切換へ改めて政府に対し売渡の契約を個人別に行うことになってゐます。その契約に基いて前渡金が例年の通り支払はれる筈なれど過去の例は何れも支払が遅れて折角の親心である営農資金の性格からして是非とも早期交付が希望されるわけであります。

この是正対策については関係機関は挙げて政府に対し強く要望されて居りますので何れは解決される問題点と考へられます。

昭和三十五年産米予備予約推進状況

地区名／種目	予約目標数量A	予約数量B	超過指数B／A
吉日戸俵	一二、六二三	一三、六三三俵	一〇八、二
南条〃	九、八〇〇	九、九六六	一〇二、〇四
東陽〃	八、三一〇	八、四五九	一〇一、三五
白浜〃	三、一四二	三、一八五	一〇一、四〇
〃	二、〇四二	二、〇七四	一〇一、四五
〃	一、九〇二	一、九三〇	一〇一、五〇
農協扱	二、一〇四	二、一〇五	一〇〇、〇五
商組扱	三、一〇一	三、一二〇	一〇四、〇六
合計	三四、五〇二	三五、二八五	一〇二、二七

産業課

因習の殻を破って
―新しい門出―

憲法記念日の去る五月三日は、白浜公民館で、尾垂五区の伊藤嘉執さん(27)（川鉄勤務）と八日市場市東谷の角田すみ子さん(24)のお二人の結婚式がとり行なわれました。

ばん（人）と二人でこむ（ささと）の誓を（藤田めで（伊角おと）

（新生活運動実践本部）

角農村では、家計をかえりみない、見栄のためとも思われる結婚式が非常に多いのですが、白浜地区ではこの悪習をうちやぶるため、公民館利用の挙式を行っており、伊藤さん・角田さんは十九番目の合理化結婚式を挙げられた訳です。

厳しゆくうちにも、新らしい時代にふさわしい門出をしたお二人を心からお祝いしたいと思います。

結婚式簡素化を実現された方達

古い因習の殻を打ちやぶって、生活の合理化、冗費節約の一大目標に向って、りっぱにその第一歩を印した方達の御芳名は次のとおりです。

（新郎）
椎名　利夫―平山　清子
最上　雄二―小川かをる
吉田二三夫―仲村　勝子
大木　弘之―寺田　アキ
浅野　亮一―椎名とき枝
小川野　和夫―山本　文枝
実川　竜一―伊藤美佐子
向後　幸義　越川　こと
池田　穎司―伊藤　律子
伊藤　嘉執―角田すみ子

（敬省略）

（なお、これから新生活運動による公民館利用の結婚式を挙げられた方達の記事を今後続けて掲載する計画です。

健康診断をうけましょう

白浜／吉日／7月8日（予定）

健康診断はなぜうけるか

結核を予防するために…

いま、全国には三〇〇万人という沢山な結核患者がいます。これは約6軒に1人の割合で病人がいることになります。結核がうつる危険にさらされているわけです。

結核がつうつってきても病気にならないように予防するのが健康診断の一つの目的なのです。

見かけの健康はアテにならない

全国的に行った調査による8割までが、発見された結核患者の自分の病気に気づかずに働いていたことがわかりました。年1～2回健康診断をして自分で気づかない病人でも早うちに見つけて治すことができるのです。

ひとに病気をうつさないために：

結核は病人のセキやクシャミによってとびちる結核菌をすいこんでおこる伝染病ということは、すでに皆さんご存知の通りです。しかしゼンソクだと思っていたお年寄りが、実は結核で可いお孫さんから病気をうつしていたというような例はないまでもよくありますから、一寸変だナーと思っていても少くても一年に一度は一家そろって健康診断をうけましょう。

◇◇◇美しい話

昨年の歳末たすけあい運動の実施にあたり町民各位は各々多大の金品を御寄贈のもとに町内の生活困難者に配分されたとの事を回覧に依りて明細に知らせて頂きました。之は既に町民各位の知る所なるも、単なる個人として困窮者を援助するはなかなかヨウイならざる事で私共は思つていても実施は出来ぬものであるが、それを我が事の様に世話をし病気の回復をさせた美談の人がある。それは篠本の二区の行方武氏である。時恰も年末の寒風肌をつんざく寒空の時行方氏は民正委員の補助を受けている郡司喜作氏が重い風邪に襲はれて寝ている過余の日数を日に三度暖かい御飯を炊きてお椀のオカズにて接待し良く看護の結果早く郡司氏の病気快復を願うたものである。

行方氏は昨秋の時も郡司氏(74)の寝具入替等、並大ていでない援助をしつつある。

私共町民は普く行方氏の美談をホメタタイて氏の跡を追従し共に助合いつつ光有る町民とならん事を望む。

昔から倉廩満てば即ち礼節を知るといふが全くそうである。私共光町民各位お互に困る時は助けあい行方氏の様な御奇特の人とならん事を望む

（蓑本二区　小西一男寄稿）

優秀納税貯蓄組合表彰さる！

去る五月十三日午后一時より役場で納税貯蓄組合長会議が開催され昭和三十四年度優秀納税貯蓄組合として左記の八組合が表彰されました。

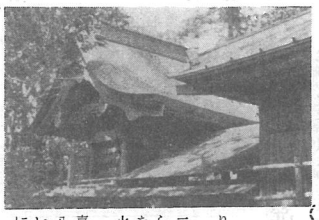
続いて昭和三十四年度下半期分の報償金の交付等があり会議も組合の運営等について活潑な意見の交換があり組合の運営に大いに役立つた事と思います。現在では皆さんの御協力により組合数も五十九組合に達し納税成績も逐次上昇しお陰をもちまして町の事業も着々と進められております。

また町としては昭和三十五年度中に納税貯蓄組合を戸加入の方針でありますので皆様方の御協力をお願いいたしたいと思います。なお組合を作りたい方がありましたら何時でも係員が御相談に伺うようになっておりますので税務課まで申出下さい。

表彰組合名

木戸荒場納税貯蓄組合
五ノ神新田納税貯蓄組合
尾垂納税貯蓄組合
原方下根納税貯蓄組合
原方西部納税貯蓄組合
芝崎西部納税貯蓄組合
篠本三区宿納税貯蓄組合
篠本和田納税貯蓄組合

旧跡めぐり



谷中稲荷神社

稲荷神社は谷中輪之内にあり、祭神は蒼稲魂命を祀る。

五体の彫像（獅子、三体狐二体、織田信長の頃の作）が祀られてあるところから、一名を五社稲荷とも呼ばれてゐる。

今を去る五百七十二年の昔嘉慶二年老尾神社大神主匡嫂八郎為房が勅許を賜り帛幣をいただき稲荷大明神をこの地に鎮座したといふ。

宮守は同村越川右京之進子孫越川八郎左衛門が代々相務めた元東陽村長越川保三郎翁遠祖である。

天正五年本社造営、のち寛保元年時の領主大久保喜六郎忠周の若殿喜五郎の寄附により再建したのが現在の本殿といわれる。

後明治二年、稲荷神社と改称した。

春の正月十三日、秋の九月十九日が祭礼であり、例年二月七日の初午祭りも昔しは賑ったといふ。

現在は谷中部落の鎮守様で氏子九十六戸を数えるが、遠い昔の谷中は草分け十六家と称されてゐる。神社の祭礼の際は、御酒盛始め万事八郎左衛門より、亦改名した者も当日盃をうけて決まる等の昔を偲ぶ面白い古るいしきたり等も神社の古文書には見えるが尚今まで一週間三日のと場日も現在では連日開設しており、多い時には一日三百頭余りが殺され嬉しい悲鳴を上げています。

特に三十三年六月より全国畜産株式会社が来場するようになってから飛躍的な上昇をたどって来ている。

◇◇◇と殺頭数四万頭突破は間近い

県下と畜場と畜頭数ベストテン

広報オ二号で二万頭突破なるかとお知らせしてから僅か三年の間に四万頭突破は間近いとお知らせ出来る快感は格別なものがあります。

県下二二のと畜場の最近三ケ年の実績ベストテンは次表の通りですが、着実に実績を挙げている東陽と畜場の足どりがよくわかりになることと思います。

と畜場名	昭和32年度	昭和33年度	昭和34年度
東陽と畜場	18,831	27,207	36,027
〃	19,870	25,082	23,347
〃	20,656	21,822	20,036
松尾と畜場	――	12,ﾌ43	19,695
千葉KK	13,104	14,401	15,764
千葉と畜場	9,514	10,677	14,324
千葉〃	11,838	11,907	14,079
千葉〃	11,907	12,810	13,855
千葉橋川と畜場	4,605	5,302	7,915
千葉原津〃	6,272	7,091	7,706
千葉柏〃			
船橋市〃			
茂木〃			

巷の声

仕事の上で誠意を示せ!!

光町の役場はどうも入りにくい。役場の職員も愛嬌がない＝こうした町民からの声はとうに町長さんの耳にも入っており公僕としての活動様式についてもなんべんか注意もあったはずだ。ところが、まだに非難の声が断えない。

職員さん一人一人に話し合って見ると特別に不親切なものもなく、応待ぶりも決して悪くない。それなのにどうして役場内の空気がよどんでいるのだろうか。この原因については色いろな考え方、見方もあろうと思うが、問題は役場職員たちが、最初から町民たちの全幅な支持を受けつつ職員になったわけではなく個人的な都合で職員を志願しているものが少くないので、よっぽど町民的な立場に立っていないかぎり、敏感な町民たちの生活感情とピッタリしないわけである。

町民たちは、やたらにペコペコされても喜ばないし、度の過ぎたおせじも好きではない。

望んでいることは仕事の上で誠意を示してもらいたいことであって、そのあふれるような熱意を何よりのサービスとして考えているわけである。庁舎内に入ったタンに一斉にギョロリと見られて挨拶もされない＝という批判は単なる現象批判であるとの考え方も成り立つが、そうした現象はいったいどこから起るのか、その本質的な問題の追求と反省がないかぎり、単なる理事者たちの注意だけでは克服はできない。町民に対する親切はお互の家庭生活のなかに出てくる町政の欠陥を知りまた肉体労働を通してそのなかから政治を学びとる努力なくしては、空念仏になってしまうであろう。理事者以下の猛省を促してやまない。

（上宮川　椎名　彰）

広報室の窓から

有線放送の編集から広報の編集と編集同人も全く多忙を極めているため、生かすことの出来る広報が出来ず申訳なく思っている。

本号には美談と役場に対する御批判の投稿があり一応紙面を飾ることが出来ました。今後この様な建設的な町民の声、或いは多くの人に知ってもらいたい事柄等沢山寄稿されることを期待して居ります。

ラジオを聴いている家庭でも必らず新聞を読んでおられるように、広報の果す役割の重要性を再確認して益々充実したもの即ち、夢の実現に努力いたす所存ですので、町民各位におかれましても積極的な御指導御鞭撻を賜りますようお願い申上げます。